

全老連創立60周年記念 全国老人クラブ大会

11月8日、天皇・皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国老人クラブ連合会創立60周年を記念する大会が、東京都墨田区の両国国技館で開催され、全国から約八百五十名の会員が、三重県からは8名が参加しました。

天皇陛下は大会のお言葉で、「高齢者の方々は、近年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、大変に後苦勞が多かったものと思います。そのような中において、老人クラブの皆さんが創意や工夫をこらし、子どもたちや若い世代とも交流しながら、積極的に社会参加を進められていることを、頼もしく思います。」



写真提供：全国老人クラブ連合会

今後とも、皆さんのこれまでの経験と知恵を若い世代に伝えつつ、老人クラブが、我が国における高齢者の社会参加や明るい地域づくりのために、重要な役割を果たしていくことを期待しております。」と述べられました。

第一部式典では老人クラブの発展に努めた人や、優れた活動をしている老人クラブに厚生労働大臣および全老連会長から表彰状が送られました。

全日本相撲甚句協会による「相撲甚句」のアトラクションの後、第二部では「老いてこそユーモア」と題して、作家の阿刀田高氏の記念講演が行われました。

三重県の受彰者は次のとおりです。受彰された皆様、誠におめでとうございます。来年度は秋田県で開催されます。



〇厚生労働大臣表彰		
老人クラブ育成成功労者	小林 千代太郎	鳥羽市
優良老人クラブ	伊勢地老人クラブ	南伊勢町
優良市区町村老人クラブ連合会	いなべ市老人クラブ連合会	いなべ市
〇全国老人クラブ連合会会長表彰		
老人クラブ育成成功労表彰	柳生 洋子	志摩市
	小堀 峯男	松阪市
優良老人クラブ表彰	鵜方老友会	志摩市
	成川高砂会	紀宝町

東海・北陸ブロック 老人クラブリーダー研修会

8月4日、東海・北陸ブロック老人クラブリーダー研修会が石川県をメイン会場に東海北陸ブロック6県1指定都市の7つの会場をつないでオンラインで開催されました。

三重県からは県総合文化センターの生涯学習センター「視聴覚室」を会場として30名が参加しました。

全老連正立事務局長から老人クラブの現状と課題についての基調報告の後、三重県、岐阜県、富山県から事例発表がありました。

その後、「新しい生き方を求めて〜鈴木大拙に学ぶ〜」を演題に鈴木大拙館館長の木村宣彰氏の講演が行われました。

三重県の事例発表は名張市桔梗が丘南さわやかクラブの池田会長が「ちよっとしたこまりごと」を解決する、ボランティア活動の事例を発表しました。

特徴は、支援者と支援を受ける会員は原則として一緒に作業に参加し、料金は無料ということです。

事例発表
【地域支え合い活動に取り組んでいる事例】
三重県名張市
桔が丘南さわやかクラブ
依頼者と共に取り組む「助け合い隊」

【新たな取り組みでクラブが活性化している事例】
岐阜県郡上市シニアクラブ連合会
「ニコニコてくてくカミカミ運動」

【新たな取り組みでクラブが活性化している事例】
富山県高岡市老人クラブ連合会
「eスポーツの導入・展開について」
来年度は名古屋市で開催されます。

